

目 次

第1章 機構と職員

1	上下水道局機構図	1
2	所属別・会計別職員配置状況	2
3	部門・性質別職員数、給与費の状況	3

第2章 主な施設と機械器具及び車両等の保有数

1	主な施設の状況	4
2	機械器具及び車両等の保有数	5
(1)	所属別車両保有台数	5
(2)	長野市上下水道局無線施設一覧表	5
(3)	給水タンク一覧表	5

第3章 水道事業

1	水道事業の概要	6
(1)	水道事業全体の概要	6
(2)	旧上水道事業の概要	7
(3)	旧簡易水道事業の概要	8
(4)	水源・浄水場別水源水量、取水量及び処理方法	9
2	水道の沿革	11
(1)	長野市水道のあゆみ	11
(2)	沿 革	19
(3)	拡張事業の経過	21
(4)	送配水系統図	23
(5)	給水区域図	43
(6)	水 系 図	45
3	水道の維持管理統計	47
(1)	給水普及状況	47
(2)	各水系別給水人口及び世帯数（旧上水道事業）	47
(3)	各水系別給水人口及び世帯数（旧簡易水事業）	48
(4)	取水量及び配水量	49
①	取 水 量	49
②	配 水 量	50
1)	1日最大配水量及び平均配水量の推移	51
2)	月別1日最大・最小配水量	51
3)	配水量・有効水量・無効水量の内訳	52
4)	無収水量の内訳	52
5)	無効水量の内訳	52
6)	温度と配水量の関係	53
(5)	量 水 器	54
①	年度別量水器取付・取替工事	54
②	口径別設置個数	54

(6) 給水装置工事及び公道修繕実施状況	54
(7) 給水栓における苦情（処理）件数	55
(8) 漏水調査及び内訳	55
① 音聴調査	55
② 漏水調査・修繕状況	56
③ 「地下」漏水防止状況	56
(9) 薬品使用量	57
① パック年間使用量	57
② 次亜塩素酸ナトリウム年間使用量	57
③ 水道用消石灰年間使用量	58
④ 水道用液体苛性ソーダ年間使用量	58
⑤ 水道用ソーダ灰年間使用量	58
⑥ 水道用活性炭年間使用量	58
(10) 動力用電力使用量及び料金	59
4 水道施設	60
(1) 導水管（路）布設延長（全地区）	60
(2) 導水管（路）布設延長（旧上水事業地区）	61
(3) 導水管（路）布設延長（旧簡易水道事業地区）	62
(4) 送・配水管布設延長（全地区）	63
(5) 送・配水管布設延長（旧上水道事業地区）	64
(6) 送・配水管布設延長（旧簡易水道事業地区）	65
(7) 各地区の水道施設	66
① 長野地区	66
② 松代地区	74
③ 若穂地区	77
④ 豊野地区	79
⑤ 戸隠地区	80
⑥ 鬼無里地区	83
⑦ 大岡地区	84
⑧ 信州新町地区	86
⑨ 中条地区	92
⑩ 配水池一覧（浄水場を除く）	95
⑪ ポンプ場一覧	106
(8) 消火栓数	108
(9) ダムの概要	109
① 水源開発費（ダム負担金）とその財源	110
1) 裾花ダム	110
2) 奥裾花ダム関係	110
3) 大町ダム関係	111
5 経営状況	112
(1) 財務状況	112
① 水道事業決算報告書	112
1) 収益的収入及び支出	112
2) 資本的収入及び支出	113

② 損益計算書	114
③ 貸借対照表	114
④ 水道事業固定資産明細書	116
1) 有形固定資産	116
2) 無形固定資産	117
⑤ 収益費用構成	117
1) 収益構成	117
2) 費用構成	117
3) 性質別費用構成	118
⑥ 経営状況の推移	119
⑦ 資本的支出とその財源の推移	119
⑧ 費目別原価構成	120
⑨ 性質別原価構成	120
⑩ 供給単価と給水原価の推移	121
⑪ 経常収益と料金収入の推移	121
⑫ 一般会計繰入金の推移	122
⑬ 企業債の状況	122
1) 現況	122
2) 企業債の推移	123
3) 企業債借入先別・利率別未償還残高表	124
4) 建設投資額に占める企業債比率の推移	125
⑭ 経営比較分析	126
⑮ 経営分析	127
⑯ 財務分析	127
(2) 水道料金	128
① 用途別使用水量及び料金調定状況（税抜き）	128
② 1戸当たり1ヵ月平均使用水量及び水道料金（税込み）	129
③ 水道料金の徴収方法（隔月徴収）	129
④ 水道料金収納状況（税込み）	129
⑤ 検針件数（隔月検針）	130
⑥ 旧上水道事業・旧簡易水道事業別調定内訳（税込み）	130
⑦ 水道料金表	131
(3) 審議会（長野市上下水道事業経営審議会）	132
① 概 要	132
② 平成30年度開催状況	133
③ 過去の答申内容（長野市水道料金等審議会時を含む）	134
(4) 主な委託業務（主として100万円以上）	138